

文化の仲間

京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間 会報 No.90 2020年8月30日発行
川崎市幸区古市場 2-109 京浜協同劇団内 TEL 044-511-4951 郵便振替 00250-3-18369
ホームページ：http://www.keihinkyoudougekidan.com/bunkano-nakama/

平和憲法作品展を開催しました

3月下旬に初めての平和憲法作品展を計画しましたが、あいにくの新型コロナの蔓延ということで、規模を縮小して開催しました。小規模でしたが充実した展示になりました。いつも会報に舞台写真を提供していただき、今回も舞台写真を出品された長坂さんにレポートしていただきました。

見学者が少なくて残念！

長坂 訓弘

3月20日～22日の3日間、京浜協同劇団の稽古場で文化の仲間主催の「平和憲法作品展」が開催されました。第1回ということでのどのようになるか…と、期待と不安が入り混じっていました。

幕が上がる（劇団だけに）と、出品者は9名でしたがそれは立派なものでした。

会場設営は劇団員の護柔さんなどが中心になっていただきました。当たり前ですが、さすがは劇団員。手際がいいです。このような文化的行事は、文化の仲間・劇団のあるべき姿の一つではないかと思います。

舞台も展覧会もコンサートも、何でも同じ。足を運んでもらって評価されるものです。新型コロナの影響があったかもしれませんが、残念！ 見学者があまりにも少なかったこと。私の第1回の感想はそれに尽きます。

22日の搬出後、打ち上げを17名の参加で行いまし



た。これから劇団員になる予定の吉田恵一さんから「富山のかまぼこ」、元劇団員の浜島政勝さんから「鹿児島のかまぼこ」やその他飲み物など、十分すぎる酒とつまみで宴を楽しませていただきました。

打ち上げの中で、せっかくスタートしたのだから、毎年は無理でもまいた種の根を絶やさないように継続して開催したいね。人とのふれあいの場になる稽古場が誇りに思える。など、前向きな発言がありました。しかし、この場でも、見に来た人が少ないのは次回への反省点だという発言もありました。

ニュースのセオリーでいうと、「5W1H」で、ここで終わり。しかし、視点を変えて、見に来られなかった方に講談調で作品と会場をご説明させていただきます。

【時は3月20日、新型コロナウイルスが猛威を振るっている…。そんな折、古市場交番裏にそびえる京浜協同劇団、バリアフリーになった正面の横を下り、入口に…。ドアを開けると4台の机が並び数名がいる、これは客ではない仲間である。上を見ると墨痕鮮やか劇団の看板俳優・護柔一のしたためた「平和憲法作品展」の看板が吊るされている。左に目をやれば壁一

(2) 平和憲法作品展



面4メートルはあろうか、文化の仲間・山木健介書の631文字の「日本国憲法・前文 日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し…（中略）…日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。」が飾られている。正面には護柔一書の「日本国憲法・第二章 戦争の放棄 第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、…（中略）…国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」が飾られている。この2点で作品展は終わりか…。何を、これからが本番。第9条の書の下の机には、今まで知らなかった山木健介氏の一面を知ることになる。笠間焼の茶碗と、今でも年2回静岡県函南の陶芸教室に通うという皿と茶碗が飾られている。朝のテレビ小説スカーレットではないが、何とも優しい色合いが出ている。その奥の壁面にはゴローちゃんと城谷護さんの似顔絵、これはゴローちゃんの作ではなかった。その奥には高橋明義作の楽器（名前はわからない）。石垣島の海岸で拾った、失礼！収集したサンゴが吊るされていて互いにぶつかり合って音を出す。その横に、私は初めて見る二村柊子作ベストの編み物とバッグ。15年ぶりに編みましたと添え書きがあった。う～初めて見るのも無理ない。隣は皆さんも見た



ことがある護柔一作の舞台上使った小道具が…。安達さんの似顔絵もあった。若菜とき子作の抽象画と「はだしのゲン」のときに書いたと思われる2人の子どもの絵、何とも対照的な作品である。90度横の面には竹間テル子作の絵手紙が十数点、中に以前「文化の仲間」会報に掲載した作品の複製数点も。私が目にとめた作品があった。カブの絵が描かれた横には「国立感染症研究所の人員削減・10年間で20億円の予算削減！ 兵器の爆買いより国民の命を守れ！」と書かれていた。余談だが、この作品はご厚意でいただいた。奥には撮影・長坂訓弘の舞台写真「結婚の申込・死神」の組み写真が…。50年前からお世話になっている劇団でやる作品展に出さないという選択肢はない。さて、いよいよ時間もオツと紙面も少なくなった。最後に入



口を入れて右側の壁面の表裏、所狭しと小野寺研心の力作の書が20数点、圧巻であった。米寿を迎えてなお創作意欲に燃える、この人物「文化の仲間」の宝かも。健康に留意してますますのご活躍を祈る。ここで紙面がいっぱいに。この続きは、またの機会に…。】



コロナ禍と川崎の文化活動

市は財政的な補償を

城谷 護

川崎の文化活動の中で、今年ショックを受けたのは何と言っても「かわさきおやこ劇場」の「閉局」(解散)でした。4月11日付で事務局平木美那子さん名で出された「創造団体・音楽家のみな様へ」と題する声明には冒頭、「新型コロナウイルスに負けました。」とあります。

かわさきおやこ劇場の結成は今から49年前の1971年。その準備例会には私たちの劇団が「三年寝太郎」を上演しています。

かわさきおやこ劇場は多くの親と子を文化的に育ててきました。それは川崎の文化史の中でも貴重なものです。最盛期、2万人もの会員を擁し、全国から注目された、そのおやこ劇場が解散するというのは、実に残念なことです。

他の集団もコロナ禍で大変です。川崎市民劇場のさいわい、なかはら、たま・あさおの3団体も4月、6月、8月の例会を延期せざるを得ませんでした。半年間も例会がないとなると退会する会員も出てきます。上演する予定の劇団も財政的、日程的な負担が覆いかぶさってきます。

しかし、市民劇場はカンパ活動を行って劇団を支えようとしています。また、会員に窮状を訴え、市民劇場の歴史と目的を理解してもらうとともに、例会で再会できることを信じて頑張っています。

市は市民館などの入場者を座席数の30%以内に抑えないと貸さないと言ってきていますが、とんでもないことです。それを言うなら入り切れない人の分を市が財政的にも補償すべきです。

京浜協同劇団も大変です。今年2本を上演する予定でしたが、それが不可能になりました。7月のかわさき演劇まつり『冒険者たち—ガンバと15ひきの仲間』。11月には『おりん』の再演を稽古場で上演する予定でしたが、中止せざるを得ませんでした。

劇団の稽古場を維持するにはローンの返済分が月20万円、固定資産税が月7万円、合計すると年間約320万円が必要なのです。このうち、いつもは年2本の公演収入により支えてきましたがそれが入らないと劇団財政はピンチなのです。

人形劇団ひとみ座も深刻です。2月末から公演の中止延期が相次いでおり、5月から8月までの上演は殆どありません。しかも上演依頼が殺到する秋のシーズンにも今年は全く展望が見えないそうです。プロ劇団なので人件費も払わなければならない、損失額は5月時点での概算でも2,500万円にのぼるそうです。

文化庁の支援はもちろんですが、川崎市も市が誇るべきこの劇団に独自に支援をすべきです。

合唱団いちばん星も来年1月に予定していた第28回演奏会の延期を決めました。「嵐が来てもレッスンはやめない」と胸をはってきましたが、このコロナには勝てず、3月から練習を中止。しかし、いつまでも下を向いてはいけないと、6月からパートごとのレッスンをやり始めました。今ある時間を逆手にとって、弱点を克服するよう努力していると言います。

川崎文化会議(城谷護議長)は6月、川崎市に対して6項目の要望事項をまとめ提出しましたが、要望は受け入れられませんでした。

本の紹介

憲法九条と幣原喜重郎

—日本国憲法の原点の解明

笠原 十九司 著 大月書店 刊 3,200円+税

憲法9条を発案したのは誰か。連合国軍最高司令長官ダグラス・マッカーサー説、日本の首相幣原喜重郎説、外務大臣吉田茂説、真相不明説など、長年の論争に対して、緻密な検証でその解明に挑む必読の労作です。



会員紹介 第1回 —— 吉田恵一さん

劇団員として新たな人生を築いて行く

文化の仲間事務局 山木 健介

吉田恵一さんは不思議な人です。いつもは、おとなしくて寡黙ですが、存在感がないわけではなく、気になる存在ではあります。

行動も不可解で、いきなりいなくなったり現れたり、また酒を飲むと饒舌になり、他人が聞いているか否かにかかわらずしゃべります。

吉田さんと知り合ったのは、私が横浜地区労で役員になってからの役員仲間としてだと思しますので、1988年7月以降だと思われます。

付き合いは長いですが、吉田さんを良く知りません。私は他人の戸籍・履歴調べに興味がないので、どこ

で生まれてどういう学校に行ってどういう職業についているかなど知ったことはありません。

ただし、他の人が言っているのを小耳にはさんで覚えていることはあります。

秩父の生まれで、両親は今はなく妹家族がいるということでした。

今年5月に川崎に来て、劇団の居住部分に入居し、劇団員にもなりました。

劇団員であり文化の仲間の会員ですが、劇団員として新たな人生を築いて行くのを興味深く見させていただけます。

吉田恵一さんによる自己紹介

1971年に地元の工業高校（農業部門の学科もある高校ですが）を卒業し、横浜市金沢区にあった工作機械（主に研削盤を製造）メーカー（以下N社）に機械工として就職しました。

70年代後半にオイルショックが有り、1週間出社、次の1週間自宅待機というような状態がしばらく続きました。そのうち設計部門の方から図面等整理のため手伝ってもらえないかという話があり、自宅待機の状態はなくなりました。図面を書くことも手伝いました。



やがてオイルショックも終息し、機械工に戻ったのですが、図面を書いているほうが楽しいと思い、N社を辞め、社長以下3人というような設計会社（以下M社）に就職しました。

間もなく、そのM社が、元いたN社と取引をはじめました。しばらくしてN社の

中に入って仕事をしてくれないか、ということになりました。「元いた会社に入るのは嫌だな」と思いましたが、辞める訳にもいかないので、N社の中で図面を書く仕事をしました。

そのN社が富山県にあるメーカーと合併しました。横浜市金沢区にあった工場も富山県に移転することになったので、M社に戻りました。1995年の暮れに、N社よりM社に富山に来てくれないかという連絡が入り（慣れている人が欲しかったのでしょうか）富山に行くことになりました。

2009年リーマンショックがあり仕事もなくなったので横浜に戻りました。その時、M社も仕事もなくなったため解散となりました。

2010年夏、リーマンショックも一段落し研削盤の受注も増えたせいか、N社よりまた富山に来てくれないかという連絡が入りました。引受先（以下A社）も用意されていたので富山で仕事をすることにしました。

2019年、日韓関係の悪化の影響からかN社（韓国の自動車メーカーからの受注が多かった）の受注が少なくなり外注に回ってくる仕事もなくなりました。

見通しがたたないためA社を辞めることにしました。

劇団の稽古場に住む所もあるということで5月下旬に川崎に来ました。

城谷さん「腹話術の通算上演回数日本一」認定

ネット上の日本一記録認定・掲載サイト「NIPPON—1・NET」が通算上演回数日本一を認定しました。腹話術を始めた1985年から通算上演回数は4,193回です。城谷さん（芸名・しろたにまもる）は、寄席での公演のほか、保育園・幼稚園での公演や被災地支援の公演も行っており、後進の指導にもあたっています。



連載 「京浜協同劇団」と私——第 12 回

木村快さんと統一劇場で仕事をする

岡田 京子

こうして始まった新制作座の歌のコーチでしたが、眞山さんをはじめとする劇団員たちの熱の入れようには驚きました。

すべてがビシビシと進み、そして歌われるうたは、これまで出会ったどんな劇団や合唱団にもない魅力を持っているように思えました。

問題はここからですが、眞山さんは、その一つ一つの歌詞に従ったドラマを作って、それを歌の中で演じさせていきました。それによって歌の奥行きが広がっていく、という新しい方向となり、まわりを驚かせました。

例えば「広がる海」と歌うときは、みんなが海辺に並んで、海を眺め、手を広げたりして、それぞれの思いを表す演技をすることによって、歌の意味や方向を伝えていく——という動きをするのですが、それが観客の理解につながっていくはずと思われていました。

たしかに歌の一つのフレッシュな感じ方につながるのですが、1曲が3分とか、長くて10分ほどの歌に絶えずそれがつきまとっている——というやり方は、あまり効果的とは言えないものがありました。しかし眞山さんにそんな意見を言えるような雰囲気はありませんでした。私はそろそろここをやめなければと思い始めていました。

1962年「赤旗祭り」に出た新制作座のこの舞台を見たインドネシアの代表団から、是非、自分のところに、つまりインドネシアに呼びたいという申し出があり、突然外国公演の準備が始まりました。私はやめるチャンスはその時しかないと思いましたが、劇団には伴奏者として必ず行くと思われていた私は悩みました。眞山さんから離れたかったのです。

たいへん優れた人だったけれど、よくあることですが「自分の方向にそわない人に対する怒り」の激しさをこの何年か見せられてきました。「わらび座」の座長だった横山茂さんとの違いを考えずにはられませんでした。

でも、大切な海外公演の伴奏です。友人のピアニストに訳を話して頼みました。でもアコーディオンの人はなかなか見つかりませんでした。ところが新制作座の中にその人が思いがけなくいて、それが木村快さんだったのです。私はそれまで木村快さんを知りませんでした。木村さんはその後70人ほどの人たちと一緒に劇団を辞めるのですが、その人たちと一緒に「統一劇場」を作り、そのリーダーになります。

そして私は、木村さんとその統一劇場で仕事をするようになっていくのです。

文化の仲間 第22回定期総会を開催します

開催日 9月27日(日)

13:30～14:50 総会 15:00～17:00 記念講演会(別紙のチラシをご覧ください)

会場 スペース京浜(京浜協同劇団稽古場)

記念講演は、「戦争体験の継承はなぜ困難か。憲法9条を論じる際の壁は何か——「網の目」を意識すれば、日本社会が見えてくる」と題して、作家の中野慶さんにお話していただきます。

なお、8月に予定されていた花火納涼会、1月に予定のお正月おたのしみ会は、新型コロナウイルスの影響をかんがみて中止といたしました。

京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間 連絡先 事務局・山木 090-7218-3551

劇団員による劇団員紹介 第9回——田中耕一さんによる若菜とき子さん紹介

トンちゃんの稽古参加率はトップ

京浜協同劇団 田中 耕一



若菜とき子さんをご存じでしょうか？

トンちゃん（親しみを込めて呼ばせて頂きます）。私より皆さんのほうがよくご存じでしょう。言うまでもなく、京浜協同劇団の創設当時を知る貴重な方であり、最年長（年齢は・・ナイショ）女優であり、芝居に対するモチベーションが劇団一高い方です。

私とトンちゃんは、皆さんより遥かに短い時間のお付き合いではありますが、今回は、公演以外でのトンちゃんをご紹介致します。

昨年の劇団創立60周年公演で、一緒にやらせて頂きました「死神」。

この中でトンちゃんは、病に臥せっている女主人。この場面は、息子役の阿部さんが、男役の私を長屋に訪ねてくるところから始まります。私が長屋を出るといつの間にか、舞台上では、トンちゃんが布団に横たわっています。（あれ、早く布団に入らないといけないので、スピードが求められ、トンちゃん大変だったみたいです。稽古ですから、早くとか、早すぎとか、寝たり、起きたり。その繰り返しですからね。）

その後、男がお店を訪ねるとトンちゃん扮する女主人の足元には「死神」が座っていて、女主人が苦しそうに唸っている。さあ、どうする？ 男。という流れの場面です。

この場面の見どころといえば、なんと言ってもトンちゃんと阿部さんの掛け合い。喜劇に欠かせないリズムやテンポ良く掛け合えるベテランならではの。

一緒に舞台上にいると一番いい場所で見られる特典があります。が、たまに聞き過ぎて、自分のセリフのタイミングを忘れそうになります。

そんな本番を迎えるには、稽古が必須です。トンちゃんの稽古参加率はトップではないでしょうか。自分の出番がある稽古だけでなく、出番がない稽古も参加されています。稽古が大好きなんですね。私自身は、たまには休みたいなあって時もありますが、トンちゃん

んが来るのに若手（実年齢は若くないです）の私が欠席なんか出来ません！

私の稽古参加へのモチベーションの一つになっています。

そんな陰ながらの努力や公演を見ていただく皆さんの励ましがあって半世紀以上も演劇を続けられたのだと感じました。

2019年10月、日本舞台芸術家組合賞の受賞。これは一劇団の中ではなく、広く世の中に、多くの人にトンちゃんが認められた証だと思います。

そんなトンちゃんにも苦手なことがあります。機械系です。

稽古終わりにトンちゃん宅へ呼ばれたことがありました。尋ねると、「FAXが受信出来ない」とのこと。確認した結果、紙不足でアラームが点灯していただけ。用紙をセットし、再印刷処理をして無事解決です。機械に弱いトンちゃん。これもトンちゃんの魅力の一つだと思います。

新型コロナで思うように外出し難い状況ではあります。今までも人は様々な困難に打ち勝ってきました。今回も勝てる、勝つという気持ちで次回作を検討中です。

当然、トンちゃんも次回作やる気満々。是非、皆様も次回作にご期待下さい。



思い切り遊んで見せます

「コロナ退散！ 笑劇場」

京浜協同劇団 城谷 護

京浜協同劇団は今年の公演として、当初2本の作品を上演する予定でした。しかし、コロナ「自粛」で、延期や中止とせざるを得ませんでした。

7月の『冒険者たち—ガンバと15匹の仲間』は来年7月に延期、もう1本の『おりん—姨捨異聞』の再演(11月)はコロナの状況から見て無理だと判断、中止することにしました。

しかし、創造集団にとって1年間何もできずにいるというのは実に辛いことです。また、ローンや固定資産税で年間320万円もかかる稽古場維持費も公演収入がなければ確保できないのです。さらに、稽古場貸し出しで外部の人たちが払ってくれる使用料もコロナのために極端に減収となっています。

何とかならないか、何回も話し合った結果、何かやろうよということになりました。

『冒険者たち』では、川崎市文化芸術活動奨励金の募集に呼応して、劇中使われる歌やダンスの動画を撮り、8月に応募しました。採用されることになり、近く市のサイトで公開される予定です。

秋には、こういう時だから気楽に楽しめるものがないということになり、小さな作品をいくつか並べて編成し、日替わりで上演することにしました。そして劇団員だけが出演するのではなく、劇団と交流のある芸人や音楽家、稽古場を使ってくれている大道芸集団にも出演してもらうことになりました。コロナも逃げていくような思い切り楽しい遊びの公演にしたいと思えます。

8月15日現在、まだ編成中、交渉中なので日時ごとの出し物は報告できないのですが、次のような内容を考えています。

特別公演「コロナ退散！ 笑劇場」

狂言芝居『お告げの妻』、『なろうことかな』

漫才、腹話術、落語、マジック

特別ゲスト=ピアノ演奏、大道芸

(出し物は日時ごとによります。9月発行予定のチラシをご覧ください)

演出 ● 和田庸子、護柔一

制作 ● 藤井康雄

なお、三密は避けなければならないので、120人の座席に対し、入場者は40人程度に絞ることにし、換気、消毒、フェイスシールドなどの感染防止対策もしっかり行います。

上演日時 2020年11月

21日(土) 11時、15時

22日(日) 11時、15時

23日(月・祝) 11時、15時

28日(土) 11時、15時

29日(日) 11時、15時

全10回(夜の部なし)

入場料 一律2,500円(大人・子ども共)

会場 スペース京浜(京浜協同劇団稽古場)

わがまち川崎

市民劇の記録

が刊行されました

2006年の第1回「多摩川に虹をかけた男」以来、約15年にわたって、7回上演された川崎郷土・市民劇の記録が、刊行されました。

総カラー頁で、これまで市民劇に関わった多くの方が執筆しています。価格は2,000円+税。

問合せ 川崎文化財団 044-272-7366

または京浜協同劇団 044-511-4951



◎文化の仲間通信◎

◆横浜トリエンナーレ

AFTERGLOW—光の破片をつかまえる

日程 2020年7月17日(金)～10月11日(日)
10:00-18:00 毎週木曜日休場(7/23、8/13、10/8を除く)、開場日数78日

会場 横浜美術館／プロット48(みなとみらい21中央地区48街区)／日本郵船歴史博物館

料金 一般2,000円／大学生・専門学校生1,200円／高校生800円 中学生以下無料(事前予約不要)
トリエンナーレ2020チケットで、横浜美術館、プロット48、日本郵船歴史博物館に入場できます。横浜美術館への入場は、日時指定が必要です。

横浜トリエンナーレは、3年に一度開催する現代アートの国際展として2001年にスタートし、まもなく20年の節目を迎えます。国際的に活躍するアーティストの作品から新進のアーティストまで、広く国内外の最新の動向を紹介しています。

問合せ ハローダイヤル:050-5541-8600(8:00-22:00)

HP: <https://www.yokohamatriennale.jp/2020/>

◆東京国立博物館 オンラインギャラリーツアー

東京国立博物館では、総合文化展をYouTubeで動画で公開しています。作品への思い溢れる研究員のトークが楽しめます。

テーマ 日本の仮面 舞楽面・行道面／土偶からひもとく、時代を生き抜くヒント／博物館で見る青銅器の鑑賞法／仏 涅槃図の世界 ほか

アクセス <https://www.youtube.com/playlist?list=PLneMG2nfDCsGPw6ZzItudpwY5se3gFOE3>

または東京国立博物館 HP: <https://www.tnm.jp/> から

◆ともしび 秋の大うたごえ喫茶

日程 9月10日 12:00開場 12:30開演

会場 上野公園野外ステージ

主催 音楽文化集団ともしび／協賛 うたごえ喫茶ともしび新宿店

料金 3,000円(指定席・事前予約のみ)約350席(満席になり次第締切り)

第1ステージ(12:30～13:30)／第2ステージ(13:50～14:20)／第3ステージ(14:40～15:50)

問合せ・申込み ともしび事務センター 03-6907-2731(月～土11:00～17:00) info@tomoshi.co.jp

◆青年劇場第123回公演 星をかすめる風

日程 9月12日(土)～20日(日)(詳細問合せ)

会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

原作 イ・ジョンミョン／脚本・演出 シライケイタ

／出演 葛西和雄・広戸聡・板倉哲・大木章 ほか
料金 一般5,200円 U30(30歳以下)3,100円(全席指定・前売)

一編の詩が人を変え、ひとつの言葉が世界を変える! 韓国の国民的詩人・尹東柱(ユンドンジュ)をめぐる愛と死の物語

問合せ・申込み 青年劇場チケットサービス

03-3352-7200 ticket@seinengekijo.co.jp

HP: <https://www.seinengekijo.co.jp/>

◆劇団銅鑼公演 センポ・スギハラ

日程 9月17日(木)～22日(火・祝)(詳細問合せ)

会場 東京芸術劇場シアターウエスト(池袋西口)

作・演出 平石耕一／演出協力 山田昭一／出演 館野元彦・中村真由美・横手寿男・馬淵真希・鈴木正昭 ほか

料金(全席指定席) 一般／5,500円 30歳以下／3,850円 ※障害のある方で付添人が必要な場合のみ、付添人1名様無料

第二次世界大戦中、多くのユダヤ人の生命を救ったひとりの日本人がいた。その名は、杉原千畝。

問合せ・申込み劇団銅鑼 TEL03-3937-1101

(平日10:00～18:00) info@gekidandora.com

HP: <http://www.gekidandora.com>

◆劇団民藝公演

ワーニャ、ソーニャ、マーシャ、と、スパイク

日程 9月24日(木)～10月4日(日)(詳細問合せ)

会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

作 クリストファー・デュラング／訳・演出 丹野郁弓／出演 檜山文枝・白石珠江・戸谷友・神保有輝美・千葉茂則・岩谷優志

料金 一般6600円 夜チケット4400円

U30・3300円 高校生以下1100円(全席指定)

中高年世代の生きづらさが醸し出す哀感を描いて、「近年これほどまでに面白い喜劇がブロードウェイにあったらどうか」と観客をうならせた傑作です。

問合せ・申込み

劇団民藝 044-987-7711(月～土10時～18時)

seisaku@gekidanmingei.co.jp

HP: <http://www.gekidanmingei.co.jp>

■文化の仲間ギャラリー■

大谷 敏行⑬

「厳選」大谷敏行の川柳塾

コロナ禍が格差社会を照らしだす

二〇二〇年八月二日『赤旗日曜版』掲載

沖縄の永遠の祈り 基地撤去

二〇二〇年七月九日『日本海新聞』掲載

国安法 焚書坑儒を想起させ

二〇二〇年七月九日『朝日新聞』掲載

第二波を等閑視して水無月尽

二〇二〇年七月一日『朝日新聞』掲載

宿怨の七十五年「黒い雨」

嫌韓を「愛の不時着」が希釈する



絵手紙 竹間テル子